

フランス語コンテスト講評

経営学部 関 未玲

第25回フランス語コンテストは、11月19日のお昼休みに総勢36名、13グループが参加して予選および本選が行われました。課題は一昨年同様、フランスの名曲「オーシャンゼリゼ」の暗唱です。一昨年と同じ課題曲となってしまうためフランス語教員内で他の案も検討したのですが、上級生から「オーシャンゼリゼは今でも暗記して歌えるため、知り合いのフランス人と歌ったこともあるので、覚えて本当に良かったです！」との声が多数寄せられたため、再度課題とすることとしました。審査委員には永田道弘先生、ニコラ・ダソンヴィル先生、そして筆者も加わり、白熱するパフォーマンスに胸打たれるコンテストとなりました。とりわけここ数年フランス語は、パフォーマンスも重視した審査基準へと変更し、フランス語を学ぶ喜びを全面に打ち出したコンテストの開催を目指してきました。その甲斐あってか(?)、今年も踊りとともに暗唱で歌ってくれるグループもいくつかあり、1時間のコンテストは笑いあり、感動ありと楽しい雰囲気の中幕を閉じました。1位には、加藤なつみさん、後藤真央さん、佐藤優華さん、關佳恵さんペアが全審査員一致で選ばれました。4人でトリコロール色のかつらを被り、衣装も合わせ、フォーメーションをかえながらオリジナルの振り付けで踊りも披露してくれたトリコロールグループの歌に、私自身審査をしながら鳥肌が立ってしまったほどです。生涯記憶に残るだろう、素晴らしいパフォーマンスでした! 2位には、4年生の上段真愛さんが圧倒的なフランス語力で美声をきかせてくれました。3位には東山美優さん、水谷晴香さんペアが、これまた素晴らしいダンスで会場を盛り上げてくれました。語学教育研究室長である英語の鎌倉義士先生にもご列席いただき、なんとフランス語オンリーのスピーチで参加者を激励してください、大いに沸いたコンテストとなりました。音声を含めコンテスト開催にご尽力頂きました同室職員の楠本裕子さんにも、この場を借りてお礼申し上げます。